#### 歴史文化基本構想の概要

銚子市の個性や魅力を伝える歴史文化と文化資産を「銚子資産」として位置付け、 後世に確実に継承していくことを目指す。また、構想の目的である「知れば、知 るほど好きになる、伝えよう銚子」の実現を目指し、知る機会の提供や充実を図 り、地域の良さを発信できる市民を増やしながら、市民が郷土に対する誇りを持 てるようにする。さらに、市民団体等との協働、関係機関との連携により銚子資 産を観光振興や地域活性化にも活用していく。

### 観光拠点形成の方向性

- ・銚子資産の周知と魅力向上
- ・「銚子歴史ものがたり」等に基づ いた面としての整備
- ・歴史文化に触れる旅の素材の提供

#### 観光に関する課題

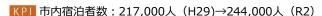
- 情報発信力の向上
- 体験プランの造成
- 周遊に必要な施設や便益施設の整備
- ・インバウンド対応の整備不足





## 「銚子時間」に基づく情報発信

歴史文化保存活用区域を紹介し、まち歩きにつなげていくためにWEBサ イト用のコンテンツとパンフレットを作成した。作成にあたり、銚子資 産を活かした事業展開を実施するため「銚子時間-三つの時間が重なり合 う町-」という基本コンセプトを設定して、情報発信に取組んだ。



## 犬吠埼灯台乙女養成講座の開催

市民が本市の代表的な観光スポットである犬吠埼灯台をさまざまな切口 で学び、さらに本市の歴史文化を総合的に学ぶことで、観光客などに対 し、市内を周遊するための情報を提供できるガイドとしての役割を担う 人材となることを目指すためにガイド養成講座を開催した。







# 「漁師の手仕事」体験メニュー作り

観光施策の中で、滞在時間を延ばす体験メニュー作りが急務となってい たことから、地場産業の事業者と連携した体験メニュー作りに取組んだ。 旧西廣家公開と連動した取組みとして、水産業の中でも「漁師の手仕事」を中心に検討し、外国人モニターからの情報収集も行った。

KPI 体験メニューの開発数:0事業(H29)→20事業(R2)









#### 旧西廣家住宅(治郎吉)主屋の公開

江戸時代末期に紀州から銚子に移り住んだ西廣家は、今も続く銚子を代 表する船主。鰯漁を主として、干鰯や鰹節生産、缶詰製造を行ってきた 歴史を伝える建物が残る。観光拠点としての活用を目指し、ガイドによ る建物等の解説、観光案内や来訪者との交流の場として好評を得た。

KPI 体験を活用した事業数:0事業(H29)→20事業(R2)



銚子資産の情報を発信 (1)

情報発信力等に課題があると指摘されてきた中で、今後の事業展開のコ ンセプト作りに始まり、継続的かつ統一的な事業展開を行い、効果的で 魅力発信ができるように方針を共有した。

# 体験メニュー作りでの連携

本市の歴史文化に関連する素材やストーリーが展開できる体験メニュー を検討する中で、地場産業の事業者へ働きかけを行ったことで、新たな 交流や協力関係を構築することができた。

平平補平構 成成助成想 

